

**海洋理工学会**  
**第2回公開講座および平成6年度秋季シンポジウム**

期 日： 平成6年10月8日(土) 10:00～17:20

会 場： 電気通信大学

(東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電話 0424-83-2161)

主 催： 海洋理工学会

協賛学会： 日本海洋学会，日本水産学会，日本気象学会，日本造船学会，日本機械学会，応用物理学会，海洋調査技術学会，航空宇宙水産海洋研究会，電子情報通信学会，テレビジョン学会，計測自動制御学会（予定を含む）

参加費： 一般4,000円，一般学生2,000円，正会員1,500円，学生会員1,000円

プログラム：

10:00～12:20 I 公開講座「近未来の防災の姿」

コンビーナ：藤縄幸雄（防災科学技術研究所）

杉森康宏（東海大学海洋学部）

講演：

10:00～10:10 趣旨説明 藤縄幸雄（防災科学技術研究所）

10:10～10:40 巨大津波に沿岸都市はどう備えるか

首藤伸夫（東北大学工学部）

10:40～11:10 地震による都市型2次災害をどう防ぐか

ノースリッジ地震から学ぶ

岡田義光（防災科学技術研究所）

11:20～11:50 地震・火山噴火はどこまで予知できるのか

溝上 恵（東京大学地震研究所）

11:50～12:20 気候変動予測について

松野太郎（東京大学気候システム研究センター）

13:30～17:20 II シンポジウム「海洋化学/生物における標準化」

コンビーナ：深澤理郎（東海大学海洋学部）

才野敏郎（東京大学海洋研究所）

原田 晃（資源環境技術総合研究所）

講演：

13:30～13:45 趣旨説明 深澤理郎（東海大学海洋学部）

13:45～14:45 栄養塩測定の標準化 座長：岩永義幸（海上保安庁水路部）

展望： 前田 勝（東京水産大学）

現状と問題：渡辺 豊（資源環境技術総合研究所），斉藤千鶴（国立環境研究所）

14:45～15:45 クロロフィル基礎生産測定の標準化 座長：千賀康弘（東海大海洋）

展望： 古谷 研（三重大学生物資源学部）

現状と問題：塩本明弘（遠洋水産研究所）

16:00～17:00 炭素量測定の標準化 座長：広瀬克巳（気象研究所）

展望： 原田 晃（資源環境技術総合研究所）

現状と問題：小埜恒夫（北海道大学水産学部）

17:00～17:20 国際研究計画における海洋資料共有への展望

座長：深澤理郎（東海大海洋）

話題提供：才野敏郎（東京大学海洋研究所）

17:30～19:00 懇親会

海洋理工学会事務局： 静岡県清水市折戸3-20-1

東海大学海洋学部海洋工学科内

電話 0543-34-0411 内線 3424

FAX 0543-35-4155